
please me

橙々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

please me

【Zコード】

Z5946A

【作者名】

橙々

【あらすじ】

初めて書いた小説です。短くて拙いですが読んでいただけます。

please me

「愛してしまふ」

あなたはよく畠ひけれど、畠ひしてそんなにも簡単に畠葉に出来てしまふの？

「…そんなの、信じてなんかあげません」

「おや、どうしてですか？」

それは、あなたが聞きたいくらいです。
どうして、こんな普通のどうやら辺に元でも転がつてやつた私に愛を畠
くのですか？

素敵なあなたなら、もっと綺麗な大人な女性が似合つた。

「僕は貴女だから愛してゐるんです。貴女じゃなきや駄目なんだ」

私が小さく俯くと、あなたは困ったように微笑んで私を抱きしめてくれました。

「…でも、私は分からないんです…」

愛してもらえて、愛しが分からないんです。
どうすればいいですか？

「…だって、初恋なんです…」

不安をかき消したくて、あなたに強くしがみつくとあなたは更に困ったように笑いながら答えてくれました。

「では、私だけを。私だけを見ていて下を。抱きしめて下を」

「あなただけを？」

そつと上を向くと、うつすらと頬を染めたあなたと田が会いました。
ああ、私きっと今とんでもない顔をしている。

「…しおりがないです、とりあえずはあなただけを見ていてあげます」

「おや、手厳しいな」

お互いに笑いあつて鼻を擦りあわせる。

それから瞼を閉じるとあなたの温もりを口唇に感じました。

「…愛してます」

あなただけを。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5946a/>

please me

2010年10月17日09時07分発行